

坂町文化財 No.11

23回シリーズで坂町文化財保護委員の皆さんが、史跡案内看板設置箇所をご紹介します。見慣れた町の風景に新しい発見がありますように。

おとししゃ
まちをぶらり～大歳社～

坂の勿条地区（坂東三丁目）の高台にあるこの社は、今からおよそ300年前に、現在地にあった椎の大木を祀って豊作を祈願したのが始まりです。

祭神は、「穀物の守り神」である大歳神で、お正月には、祭殿を飾り、5月5日には、春祭りを行っています。



階段を上りきると、およそ200年前に造営された社殿が現れます。

— 民俗資料の収集について（お願い） —

坂町文化財保護委員会では、引き続き坂町の古い資料を収集しています。昔、使用していた民具や古い写真などがありましたら、お知らせください。

【問合せ】坂町教育委員会事務局生涯学習課 ☎ 820-1525

あたたかい
心のともしび



次の方々から、社会福祉事業資金としてご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。
（12月受領分・敬称略）

◎一般寄附者

坂町グラウンドゴルフ協会
坂支部

よろこび

おめでとうございます
12月届出分 敬称略



濱谷 終歩(坂東二丁目)
桃田 葵(坂西二丁目)
山本 結夢(坂西二丁目)
本岡 明莉(平成ヶ浜五丁目)
藤井 陽真(平成ヶ浜五丁目)

かなしみ

おくやみ申し上げます
12月届出分 敬称略

縫部 貢(90)(坂東三丁目)
正原 信義(94)(坂東三丁目)
林 イスミ(92)(坂東三丁目)
國弘 シズコ(102)(坂西一丁目)
下花 公紀(85)(坂西二丁目)
槇尾 康之(53)(坂西四丁目)
山口 藤子(88)(北新地二丁目)
岸本 眞壽子(96)(平成ヶ浜一丁目)
松井 良子(80)(植田三丁目)
川上 一弘(82)(植田四丁目)
植田 月後(85)(植田四丁目)
西谷 竹則(96)(小屋浦二丁目)
中村 三男(100)(小屋浦三丁目)
西山 シマ子(91)(小屋浦四丁目)

このコーナーに掲載を希望しない方は、届出のときに申し出てください。



今月の休日当番医

診療時間 9時～17時30分

休診時間 13時～14時

日付	坂町・熊野町	府中町	海田町	広島市安芸区
5日(日)	三登医院(内科) ☎ 885-0037	こさか内科 ☎ 281-4482	くるしま内科循環器クリニック ☎ 821-2212	津丸内科医院 ☎ 888-4561
11日(土・祝日)		スガタ整形外科医院 ☎ 285-6522	深坂内科循環器科 ☎ 823-0588	シラネ外科胃腸科 ☎ 892-1500
12日(日)	豊田レディースクリニック(女性内科・産婦人科) ☎ 855-1913	永田内科医院 ☎ 285-0808	南海田病院(外科) ☎ 823-8855	いいだ眼科 ☎ 822-1146
19日(日)	小坂内科医院 ☎ 885-0108	瀬戸ハイム内科 ☎ 285-0816	みぞて眼科 ☎ 821-2601	なかむら皮膚科クリニック ☎ 889-1112
23日(木・祝日)		鈴川内科クリニック ☎ 286-0050	しらね泌尿器科クリニック ☎ 821-1900	おの眼科 ☎ 889-0011
26日(日)	酒井医院(耳鼻咽喉科) ☎ 855-2629	産科・婦人科 藤東クリニック ☎ 284-2410	こころのクリニックひまわり(心療内科・精神科) ☎ 847-3111	安芸市民病院(内科・外科・小児科) ☎ 827-0121

受診を迷うときは、#8000こどもの救急電話相談（毎日、午後7時から翌朝8時まで）、#7119成人の救急電話相談（24時間365日）もご利用ください。

今月の納税

口座振替日 2月27日(月)

口座振替の登録をされている方は、口座振替日の前日までに残高の確認をお願いします。

2月28日(火)

固定資産税……………第4期分
国民健康保険税……………第8期分
介護保険料(1号)……………第11期分
後期高齢者保険料……………第8期分

坂町の人口と世帯

(1月1日現在)

男：6,157人 (前月比 + 2)
女：6,682人 (前月比 - 15)
計：12,839人 (前月比 - 13)
世帯数：5,797世帯 (前月比 - 15)

坂町史

親から子へ、子から孫へ受け継ぐ

第107回 坂町のいまむかし(水産業)

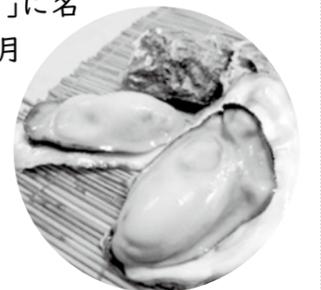
戦後の坂町水産業は、遠洋漁業から沿岸漁業、養殖業へと移行していきました。カキ養殖が活発になってきたのは、昭和23年ごろからで「広島カキ」は坂町の特産品です。



写真①は、昭和30年代に坂町漁業協同組合が、まだ横浜地区にあったころの、市場の様子である。

平成19年に漁協による魚介類の販売事業が終了したことにより、平成22年に、森山北漁業基地内に設置された直売施設(写真②)で、定期的に新鮮朝市が開催されている。

昭和57年から始まった「かき祭り」は、現在は、「水産まつり」に名称が変更され毎年2月に開催されている。特産品のカキはもちろん、新鮮な魚も販売され賑わいをみせている。



〔『通史(現代)・地理編』より〕